

「鬼ゆず」とも「獅子ゆず」ともいうそうです。市立甲府病院へ行く途中見つけました



丁度いらした家の方に一つ分けていただきました。ジャムにも砂糖漬けにも良いそうですが香は少ないようです

# 楽音

佛歴二五六五 西歴二〇二二

令和四年十一月号

発行 楽音寺 住職 内藤睦雄

電話 090-3140-3931 (携帯)

0553-47-3475 (お寺)

FAX 0553-47-3495 (只今使用不可)

寺庭 090-8643-0852 (藤井牧子)

十一月十・十一日 信越教区拡充大会

十三日 楽音寺お施餓鬼法要

午前十一時より本堂で挙行いたします

本堂内に入って儀式に参加できますが、

本堂前でも焼香はできます

十九・二十日 本山御詠歌講習

二十四・二十五日 大分萬寿寺講習会

二十六日 山梨交響楽団

石和スコレーコンサート

十三・二十七日坐禅会 朝六時三十分

十二月十一・二十五日坐禅会 朝六時三十分

# 今月の掲示板

あたたかき

十一月もすみにけり

十一月にはどんな  
イメージをお持ちで



しょうか？ 八月は夢花火、九月は夜長月、十月は暑さひと段落神無月、十二月は師走の除夜の鐘などなど。一月から順番に考えると何か一番中途に位置しているように思われる。それは私だけかな。それだけ最も自分を見つめることのできる月かもしれない。そこからくる詠嘆のような感触がこの句にはあって、穏やかな気分になれます。ひらがながほとんどを占める全体が、十一月という冬の

季語があっても地味な句ながら、柔らかくあたたかい雰囲気となっている。作れるならこんな俳句を詠みたい、高浜虚子に師事した人間探求派の中村草田男の句でした。

## 光陰矢の如し

大学を中退して



バンドマンになったことも、修行道場を經過寺の生活を始めたことも、つい昨日の事のようにですが、まさにこの言葉通りの思いです。「光陰矢の如し」光と陰はお日様とお月様の事。月と太陽を一矢で束ねてしまうような、壮大な言葉です。矢を放ったようにめくるめく月日が経つことです。時が経つのが早かったという意味ではありますが、過ぎ去ってみ

ればという立ち位置での言葉。行く先を憂いで  
の表現は「歳月人を待たず」でしようか。  
現実を見れば太陽も多くの惑星を従え、一見  
止まっているほどに決して急がず、ご自分も  
どこかを巡っています。月も同じく何食わぬ  
顔で、音もたてずあわてず、それこそ美しき  
満ち欠けを見せながら、それが為古来多くの  
歌を引き出してきました。そうした淡々とし  
た動きを見せてくれるお日様とお月様を束  
ねたわけです。

またこの句には一度放った矢は再び手元  
には戻らないという意図もあり、無常観を込  
めて無為に生きることへの戒めにもなっ  
ています。だから「光陰惜しむべし」という言  
葉も「矢の如し」だから「惜しむべし」な  
どと強引に結論付けました。

## 編集後記

十月中旬、

二年続けてコロナで中止となった御詠歌の  
全国大会が、本山京都妙心寺で実施されまし  
た。今年もやはりできないのでは、と心配を  
しましたが、大勢のスタッフのおかげで実施  
に漕ぎ付けました。しかも地元山梨からも大  
勢の方が参加していただき、新曲も無事発表  
され、今とても安堵感を覚えています。

大会前日から打ち合わせのため京都に向  
かいながら、身延線沿線から見る、いつもと  
少し違う、雪のない黒い富士山と高い空に薄  
い雲、ある方にその様子をメールしましたら  
「幸先いいですね」と言われました。「さい  
さき」は「幸先」と書くんだ。それじゃあ「幸  
先良くて」とよく言われるけど、さいさきは



字面を見る限り良いに決まっているということになります。思った通り充実した御詠歌奉詠大会が無事終了して、秋空の様な晴れやかな気持ちで、先の幸せを見つめます。

十月号において紙面の都合で、禅語について説明不足の部分がありました。ここでお詫びし、引用した文章の説明をいたします。

無事是れ貴人、但（た）だ造作すること  
莫（なか）れ、祇（た）だ是れ平常なり、  
你（なんじ）外に向かつて傍家（ぼうけ）  
に求過（ぐか）して、脚手（かくしゅ）  
を覓（もと）めんと擬（ぎ）す。錯（あ  
やま）り了（おわ）れり

どんな境遇にあっても、あたりまえのように対応していきける人こそ尊ぶべき人である。平常のありのまま、そのままがいいのです。あ

なた方は外に向かつて道を求め、わき道をしては悟りの手掛かりを求めている。それは間違いであり、心得違いも甚だしいというところだよ。  
という意識ですが、人として「そのまま」「ありのまま」がベストだということです。



十月三十日現在、写真のように、倉庫の全容も見えてきました。

庫裏の基礎もご覧の通りです。こうしてみると広い庫裏。手前が大玄関、その先少し出ているところは私の寺務所。早速掃除が大変そうね？と心配して下さる方もありますが、お手伝い、よろしくお願いいたします。